



松野小学校運動会（5月23日、同校校庭）

先人から受け継ぐ(5) 田植え踊り

田植え踊りは、古くからそれぞれの地域に伝承されていて、歌と踊りで農作物の豊作を祈り、水田の安定を保障する鎮魂の踊りである。「稲の種まき」から「米つき」まで、年間の農作業などを演劇化しており、口上あり、応答のセリフあり、歌やおどけた場面などもあって、農村から生まれた代表的な演芸として大切にさ

れ、今に至っている（参考：松尾村誌）。

現在は、野駄・田植踊り育成会の指導により、松野小学校の子どもたちなどによって踊り継がれており、毎年、運動会などの行事で披露されている。

○保存会代表 立柳勝幸さん

○市無形民俗文化財の指定 昭和50年10月11日（旧松尾村指定）



今議会は、東日本大震災関連の質問が多く出された。電気に、私たちの生活がいかに依存しているか、地震による停電が立証してくれた。自然エネルギーによる発電は、旧松尾村に地熱発電や小水力発電が存在する。今回の原発事故を教訓に、自然エネルギーへの転換は社会が求めてきており、地域の状況に応じた発電が推進できる、極めて当市にマッチしたものだといえる。今、日本が直面しているエネルギー問題に積極的に取り組むことにより、経済の活性化にもつながり、教育のモデルにもなる。自然エネルギー対策を、地方の産業として捉え、全域に広げていけば、地方の良さが見直される。可能性のある自然を活用して、自然エネルギーを無理なく作る事が重要である。節電に心がけ、今年の夏も元気に乗り切ろう。

議会広報特別委員会

委員長 伊藤一彦

副委員長 渡邊 正

委員 三浦 侃

大森力男

高橋悦郎
立花安文



りきお 大森力男

あ
と
が
き